

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	和歌山県	市町村名		大学名	
派遣日	令和2年11月6日(金曜日) 13:15~16:30				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 <u>派遣</u> / 遠隔				
派遣場所	和歌山県書道資料館 和歌山県和歌山市西汀丁61				
アドバイザー氏名	目白大学 人間学部児童教育学科 専任講師 近田 由紀子				
相談者	市町村教育委員会指導主事、日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する学校の管理職及び教員、日本語指導に係る関係者、県教育委員会指導主事等 33人を対象に、「日本語指導が必要な児童生徒への支援」と題して講義				
相談内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校における、特別の教育課程を編成するための具体的な考え方・方法について指導をお願いする。</li><li>・本県においては、日本語指導が必要な児童生徒に対応する日本語指導担当教員は、毎年変わることが多いため、基本的な学習の指導方法や保護者への対応の仕方について、教員及び市町村教育委員会指導主事等を対象に指導をお願いする。</li></ul>				
派遣者からの指導助言内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・公立学校等における就学と学習の状況</li><li>・学習指導要領と「特別の教育課程」</li><li>・日本語と教科の統合学習(JSLカリキュラム)</li><li>・授業づくりと支援のヒント</li><li>・実践例の紹介</li><li>・「特別の教育課程」による指導の評価</li><li>・評価の観点と方法</li><li>・学校・地域等のネットワークの大切さ</li><li>・学級担任と日本語指導担当教員の連携の実践例</li><li>・特別支援学校における日本語指導を必要とする児童・保護者への支援</li><li>・母語による支援の重要性</li><li>・関連出版物や文部科学省「かすたねっと」等インターネットに掲載されている教材紹介等の情報提供</li></ul>				
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none"><li>・特別の教育課程等を含む児童生徒等への対応の仕方等について話が聞けたことで、教育委員会や学校等での対応・支援の仕方、児童生徒の見方等の理解が深まった。</li><li>・今回、日本語指導に係る様々な関係者が集まったことで、新たなつながりができた。今後、他機関との連携についても、考えていきたい。</li><li>・ダブルリミテッド(母語でも日本語でも年齢相応レベルに達しない学習困難児)への支援の方法等、新しい視点を得た。</li></ul>				